

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達LABO.Proリハ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本こども1人につきスタッフが2人に対応できている 専門職が配置されている 専門性の高いスタッフが療育に携われるところ 個々に対応でき、療育の幅を広げられる体性	細かい設定が必要な子の情報共有をおこなっている どの様なニーズや目的で通所するか事前に把握する 限られた時間の中で公立よく淳義や伝達を行う	担当が休みでも同じが対応できるよう写真を撮るなどして同じ療育ができる工夫をしている より充実した療育ができるように知識や経験を増やす スタッフミーティングなどで業務内容の確認を行い分かりやすくしていく
2	保護者への支援がしっかりしているところ。定期的に面談をして必要に応じて休会や再開ができる	定期的な面談をおこなっている	現在の関りを継続していく
3	職員間の中の良さ。年齢関係なく意見を伝えられる点	業務改善改善が常に行われている	継続して気になる点は業務改善を繰り返し行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	担当がついていない児童の情報共有があまりされていない 職員の急な休めで代わりに担当する時にニーズに沿った療育ができていないか不安	全体で話をする場がすくない 誰もがみてすぐわかるような情報の共有が難しい点	隙間時間などで定期的に話を共有する 自分の担当以外の児童の情報も把握できるような工夫
2	業務量は少ないが業務の偏りが見られる 1つ1つのその時に行う業務はできるが、流れの確認が必要な業務は一通りレクチャーが必要	統一しても継続が難しい 管理するものが多い	業務改善の繰り返しを行う 物品の整理や洗い出しを行い整理をしていく
3	キャンセル待ちなどのイレギュラーな連絡の共有が難しいところ	特定の人しか知らない、みんなで意識が統一できていない点	週間スケジュール等皆で共有できるスペースに啓示する